

2013年6月5日

## 2013年「エンジン・オブ・ザ・イヤー」：BMWグループが2部門制覇

- 排気量 2.0 リッターの BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー搭載エンジンと、1.6 リッターMINI Cooper S のエンジンがそれぞれの部門で大賞を受賞。

### ミュンヘン/シュトゥットガルト発：

BMW グループは「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー」での輝かしい受賞記録を、今年も2つのエンジンの大賞受賞によって更新した。世界的に名高いコンテストでのこの新たな功績は、スポーティなパフォーマンスを既存のBMWとMINIのモデルに効率的に盛り込んだ、2つのドライブ・ユニットのおかげといえる。BMW 1シリーズや、3シリーズ、5シリーズなどに搭載されている、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー採用の2.0リッターの4気筒エンジンは、昨年に引き続き排気量 1.8～2.0 リッター部門で大賞を受賞した。さらに、MINI クーパーSに搭載の1.6リッターの4気筒エンジンは3年連続での受賞を達成した。「エンジン・オブ・ザ・イヤー」は、2013年6月5日にシュトゥットガルトで行われたエンジン・エキスポにて発表、表彰された。

他社には真似できない素早いパワー伝導とその効率の良さは、BMWグループが「エンジン・オブ・ザ・イヤー」において優秀な成績を収め続けるための土台である。今年も、35カ国から集まった国際的な自動車ジャーナリスト 84 名により、各賞の受賞が決められた。2部門での「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー」受賞は、BMWグループのドライブ・システム・テクノロジーの分野における専門性のさらなる発展が国際的に認められたことの強い裏付けとしても受け取ることができる。1999年以降、このコンテストでBMWグループは、部門、総合合わせて60もの大賞を受賞してきた。

BMWのツインパワー・ターボ・テクノロジーは、排気量 1.8～2.0 リッター部門制覇の鍵となった。受賞した直列4気筒BMW ツインパワー・ターボ・エンジンには、ツイン・スクロール・ターボチャージャー、高精度ダイレクト・インジェクション・システム、そして、バルブトロニック(無段階可変バルブ・リフト)も組み込まれている。このエンジンは、現在、BMW 320i、BMW 328i、BMW 523i、BMW 528i、BMW X1 sDrive20i、BMW X1 xDrive20i、BMW X1 xDrive28i、BMW X3 xDrive20i、BMW X3 xDrive28i、BMW Z4 sDrive20i に搭載されている。

もうひとつのBMWグループの大賞受賞エンジンも、3年連続で審査員をそのスポーツ・パフォーマンスと燃費の良さの圧倒的なバランスで魅了した。MINIの1.6リッター4気筒ツインパワー・ターボ・ユニットは、排気量 1.4～1.8 リッター部門ではもはや敵無しであり、オーバースト機能のついたツインスクロール・ターボ・チャージングや、ガソリン直噴システム、バルブ・トロニック・システムに基づいたバルブ制御システムを誇っている。この最高出力 135 kW/184 hp のエンジンは、MINI Cooper S が7秒で時速 100km まで加速するのを可能にし、さらにEUのテスト・サイクルにおいてガソリンの消費量を 5.8 リッター/100km に抑えることに成功した。この低燃費なドライブ・ユニットは、現在 MINI Cooper S Crossover と MINI Cooper S Paceman に搭載され、4輪駆動システムと組み合わせることも可能である。